

< 第 4 議案 >

2008年度収支予算(案)

15 ページの 2008 年度収支予算書をもって、2008 年度収支予算とする。

< 説明 >

2008 年度収支予算のポイントは以下の通りである。

以下、増減は、2007 年度決算額との比較

2008 年度は、世代交代を実行し、組織・財政基盤の確立をめざす予算とした。2007 年に再会した常勤スタッフ 2 人体制を継続する。当年度収支差額約 111 万円の赤字を見込む。したがって、2007 年度からの繰越金約 229 万円は、2008 年度末には約 118 万円になる (ここでいう繰越金には、将来計画のため留保している大口寄付分は含まない)。年会費増をはじめ、ここにあげられた会費収入、事業収入、寄付金収入はすべて意欲的な見込みであり、収入増、経費削減における相当の努力が必要である。

1. 会費収入について

会費収入全体は約 64 万円の収入増を見込んでいる。会員・購読者数の正味増を賛助会員相当で 40 口と見込みっており、予想される退会者、購読中止者の数を勘案すると、目標達成のためには、新規会員・購読者 80 名程度を獲得しなければならない。会員一人一人に新規会員・購読者の獲得にご協力いただくことを前提としつつ、メリハリのある努力を継続する。

2. 事業収支について

事業収入は約 135 万円の減、支出は約 37 万円の増を見込む。2007 年度は、調査受託を 200 万円見込んでいたが、2008 年度はそれがないことが大きい要素である。

収入：

- ・イアブックでは、「2008 年版」作成により収支黒字 55 万円 (収入 195 万円、支出 140 万円)。「2007 年版」の繰り越し販売で 36 万円を見込む。
- ・「岩波ブックレット」、「その他」販売で、約 20 万円の収入を見込む。
- ・2 種類のブックレット作成により収支黒字 20 万円 (収入 60 万円、支出 40 万円)を見込む。
- ・「講演・執筆・出演」は、2007 年度実績を踏まえ、2007 年予算より 15 万増を見込む。
- ・助成金収入を 100 万円、見込む。
- ・宜野湾市からの調査委託事業は 2008 年度も継続しているが (2007 年 8 月～2008 年 3 月)、会計年度のずれから生じる複雑さを避けるために別会計扱いとしており、予算案に含めていない。
- ・同じく別会計扱いとして、将来計画資金会計から約 46 万円の支出を見込む。

支出：10 周年記念シンポのため、「公開講演会・セミナー」費の約 17 万円増を見込む。

3. 管理費について

臨時雇賃金、消耗什器備品費、印刷製本費など様々な節約の努力をした上で、管理費全体で約 109 万円の減を見込む。